



■2024年8月の予定表をお送りします。

8月は全体練習は25日までありません。大会で三段池が使えないこともあります、何より朝からすでに30度に近い気温で、熱中症のリスクがあるため、夏季休業にしようと思います。ナイターの選手練習も少ないのですが、やれる範囲でよろしくお願ひします。

それにしても今年の暑さは昨年以上で、びっくりしております。昨年も思っていましたが、今後は夏場の練習環境については、考える必要がありそうです。

■今後の試合など

サマージュニアの後は、9月初めには「グリーンボール」があると思いますので、要項ができ次第、お知らせします。8歳と10歳のカテゴリーになります。8月後半のエントリーとなります。京都府協会の試合は、その

あとはダンロップ全国選抜予選までありません。ダンロップは14歳、12歳のカテゴリーになります。また、9/23に三和荘主催で「テニスの日」協賛の「テニス祭り」があります。こちらは追って要項をお送りします。



中学総体 2024

■熱中症や脱水に注意！！

練習には多めのドリンク(できればスポーツドリンク)タオルをお忘れなく!手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意!



テニスの豆知識 95

■ノーレットについて

またまた日本協会が変なことを言っておりまして、9月以降のJTA主催の主な大会において「サービスにおけるノーレットルール」(ネットインはそのまま続ける)が採用されるようです。これにともない各府県のジュニア大会もそうなる可能性が高いのですが、まだ全国的な統一(少なくとも関西での統一)ができてないようで、ジュニアの大会要項も出せないような状況のようです。ノーレットにすることで、競技の魅力が高まり、競技時間も短縮できるというのが導入の理由のようです。

テニスの場合、他の競技に比べて「ルール変更」は少ないので、(バスケットなどは毎年変わるので大変らしいです。)それでも近年で言うと、特別短縮ルールのはずの「ノーアドバンテージ」が、レギュラールールになりつつあり、特にジュニアの試合は、



コロナ以降、熱中症予防などの面からも、ノーアドが用いられています。しかし、ノーアドは、テニスの本質的な基本ルール。「2連続ポイントを取らないと勝てない。」という部分をなくすことになります。であれば、6-5で終わっても良いなずなのですが、そこだけは7-5までやって、またタイブレークで7-6では終われないことになります。

ノーレットについては、ノーアドほど、競技に与える影響は少ないと思われますが、偶然性という不確定要素をテニスに取り入れる必要があるのかという疑問は残ります。またノーレットにしたところで、それほど時間短縮にはならないと思うのですが…。

■今後の公式戦・9月グリーンボール大会

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp



DUNLOP
FORT